

令和 4 年 1 月 20 日

原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部
2021 年度企画展示
「赤レンガの医学資料館」
～陸軍兵器補給廠だった医学資料館で見る広島とヒロシマの医学史～

医学部創立 30 周年を記念して 1978 年に設立された広島大学医学部医学資料館（以下、医学資料館）は、日本の国立大学医学部の中で最初にできた資料館です。広島大学医学部が現在の霞キャンパスに完全に移ったのは 1957 年ですが、医学資料館には、医学部や原爆放射線医科学研究所など広島大学関係のものだけでなく、地元の開業医の皆様、県や市の医師会などから、江戸時代や近代以降の医学書、広島の医学記録など実に様々な種類の資料が多く託されています。医学資料館の英文表記が“*Institute of History of Medicine*”であることから、その気合がうかがえます。

本資料館の基になった陸軍兵器補給廠の建物は、大正 4 年（1915 年）に建造された被爆建物で、原爆の際は救護所として使われました。現在の大学病院前にあるこの赤レンガは、原爆の様子を、そして原爆前の広島と原爆後のヒロシマの医学に取り組むものたちの営みをずっと見てきた、そういった経緯を踏まえて、現在資料保存環境の整備を進めている中で改めて確認された資料や未公開資料を交えて展示します。

〔開催〕 主催：広島大学原爆放射線医科学研究所
共催：放射線災害・医科学研究拠点
（広島大学・長崎大学・福島県立医科大学）
協力：広島大学医学部

〔期間〕 2022 年 2 月 21 日～3 月 23 日（予定）

注意：新型コロナウイルス感染流行の状況による国・県・市の施策および広島大学の行動指針等を遵守することを第一とし、そのうえでの開催とします。そのため、場合により、上記の開催場所および期間は変更（中止または延期）することがあります。開催の場合も、完全事前予約制による参観とします。

〔会場〕 広島大学医学部医学資料館（広島市南区霞一丁目 2 番 3 号）
〔展示閲覧〕 無料（完全事前予約制）
〔内覧会〕 会期開始時にマスコミ関係者向けの内覧会を予定

【お問い合わせ先】

原爆放射線医科学研究所
附属被ばく資料調査解析部
助教 久保田明子
TEL:082-257-5936（事務）

赤レンガの 医学資料館



陸軍兵器補給廠だった
医学資料館で見る
広島とヒロシマの
医学史



[期間] 2022年 **2月21日** (月) ~ **3月23日** (水)

入場無料
事前予約制

10:00~16:00 (土曜日・日曜日・祝日閉館)

[会場]

**広島大学医学部
医学資料館**

広島大学霞キャンパス (大学病院前)

主催 広島大学原爆放射線医科学研究所

共催 放射線災害・医科学研究拠点
(広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

協力 広島大学医学部

企画・製作 広島大学原爆放射線医科学研究所

附属被ばく資料調査解析部

【ご注意】新型コロナウイルスの感染状況等により、中止、延期、開催方式の変更等がある場合もございます。
あらかじめご了承ください。

【来場方法】事前予約制とさせていただきますので、お手数ですが、事前にQRコードか下記連絡先までご連絡ください。
【予約時の必要事項】①代表者のお名前 ②参観希望日時 ③人数 ④連絡先メールアドレス ⑤連絡先お電話番号

